

研究ノート

クルーズ客船寄港客の観光行動
—函館圏来訪客調査の結果報告—

鈴木 克典

目次

1. はじめに
2. 函館市におけるクルーズ客船入港予定
3. クルーズ客船寄港客調査概要
4. 調査結果
5. おわりに

[要旨]

近年、我が国において、沿岸部の港湾都市に国内外のクルーズ客船が寄港する機会が多くなってきている。また、そのことに相俟って、日本人でクルーズ客船を利用し観光旅行をする人が、予算的・時間的に余裕のある客層を中心に増加している状況にある。

そこで本研究は、函館市において、平成28年(2016年)9月に実施したクルーズ客船来訪客に対する観光行動調査の結果について報告することを目的としている。

具体的には、着地(寄港地)である函館市(周辺も含む)への来訪回数(経験)や訪問観光スポット等の周遊観光行動、周遊の際の利用交通手段、種類別の観光消費金額、観光満足度等、クルーズ客船寄港による観光行動の実態について明らかとすることができた。

1. はじめに

近年、我が国においては、国内外のクルーズ客船が主要な港湾都市に寄港するケースが増加している。そして、そのことに伴って、日本人もクルーズ客船を利用し観光旅行をする人が増加傾向にある。

クルーズ客船による観光(移動)トリップは、旅行目的地までの交通・移動手段としてのみではなく、交通・移動するプロセスそのものを楽しむ旅が注目され、時間に比較的余裕のある客層を中心に人気を博している。

また、特に最近では客船のみを手段とする旅行だけではなく、航空や新幹線等の高速交通機関と組み合わせた形で、比較的船旅としては短期間の中で楽しむ需要も増加してきている。一方で、客船の利用者層は比較的金的・

時間的に余裕のある客層が多いと言われており、寄港地において予算的に余裕を持って買物や着地型観光を楽しむ層も多いことから、港湾都市においては誘致に力を注いでいる状況にあり、地域活性化のきっかけ・起爆剤となるべく期待されているところである。

そこで本研究においては、函館市において寄港する(大型)クルーズ客船の利用客を対象として実施した寄港地及び着地型の観光(寄港地において、着地型の観光を楽しむ下船される方)行動に関する調査結果を報告することを目的としている。

調査において、具体的には今回の旅行の大きな旅程(移動経路)、着地(函館〈圏〉)における観光の実績(内容)、函館(圏)での大きな観光消費金額(経済効果)などについて質問を行っている。

表 1 函館市におけるクルーズ客船入港予定 (平成28年度)

NO.	船名	所属	全長	総トン数 (G/T)	乗客 乗員 定員数	入港日	係留場所
1	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	241	50,142	1,342	4/14 (木)	港町ふ頭
2	VOLENDAM	HOLLAND AMERICA LINE	238	61,214	2,020	4/21 (木)	港町ふ頭
3	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	241	50,142	1,342	4/27 (水)	港町ふ頭
4	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	241	50,142	1,342	5/6 (金)	港町ふ頭
5	LEGEND OF THE SEAS	ROYAL CARIBBEAN INTERNATIONAL	264	69,130	2,530	入港中止	港町ふ頭
6	ばしふいっくびいなす	日本クルーズ客船	183.4	26,594	864	5/21 (土)	西ふ頭
7	LE SOREAL	PONANT	142	10,700	404	入港中止	西ふ頭
8	DIAMOND PRINCESS	PRINCESS CRUISES	290	115,906	3,774	6/1 (水)	港町ふ頭
9	ばしふいっくびいなす	日本クルーズ客船	183.4	26,594	864	6/15 (水)	西ふ頭
10	SILVER DISCOVER	SILVERSEA CRUISES	103	5,218	216	6/25 (土)	西ふ頭
11	DIAMOND PRINCESS	PRINCESS CRUISES	290	115,906	3,774	6/30 (木)	港町ふ頭
12	DIAMOND PRINCESS	PRINCESS CRUISES	290	115,906	3,774	7/14 (木)	港町ふ頭
13	SUN PRINCESS	PRINCESS CRUISES	261	77,441	2,850	7/19 (火)	港町ふ頭
14	DIAMOND PRINCESS	PRINCESS CRUISES	290	115,906	3,774	7/23 (土)	港町ふ頭
15	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	241	50,142	1,342	7/26 (火)	港町ふ頭
16	DIAMOND PRINCESS	PRINCESS CRUISES	290	115,906	3,774	8/1 (月)	港町ふ頭
17	MSC LIRICA	MSC CRUISES	275	65,592	2,705	入港中止	港町ふ頭
18	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	241	50,142	1,342	入港中止	港町ふ頭
19	SILVER DISCOVERER	SILVERSEA CRUISES	103	5,218	216	9/3 (土)	西ふ頭
20	DIAMOND PRINCESS	PRINCESS CRUISES	290	115,906	3,774	9/6 (火)	港町ふ頭
21	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	241	50,142	1,342	9/8 (木)	港町ふ頭
22	ばしふいっくびいなす	日本クルーズ客船	183.4	26,594	864	9/9 (金)	西ふ頭
23	CELEBRITY MILLENIUM	CEREBRITY CRUISE	294	91,000	3,033	9/15 (木)	港町ふ頭
24	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	241	50,142	1,342	9/22 (木)	港町ふ頭
25	SILVER SHADOW	SILVERSEA CRUISES	182	28,258	677	10/1 (土)	港町ふ頭
26	DIAMOND PRINCESS	PRINCESS CRUISES	290	115,906	3,774	10/2 (日)	港町ふ頭
27	にっぽん丸	商船三井客船	167	22,472	628	10/3 (月)	西ふ頭
28	CELEBRITY MILLENIUM	CEREBRITY CRUISE	294	91,000	3,033	10/14 (金)	港町ふ頭
29	COSTA ATLANTICA	COSTA CRUISE	293	85,619	3,011	10/18 (火)	港町ふ頭

注) 函館市「平成28年度のクルーズ客船入港予定」を参考に筆者が一部改変

2. 函館市におけるクルーズ客船入港予定

調査を実施した平成28年度(2016年度)の函館市におけるクルーズ客船の入港予定⁽¹⁾を、表1に示す。

表1によると、函館市への平成28年度におけるクルーズ客船の寄港予定では、寄港中止になった分を含め、合計29回でのべ59,727名の乗客乗員定員数、寄港中止分を除くと合計25回でのべ52,746名の乗客乗員定員数となっている。

3. クルーズ客船寄港客調査概要

(1) 調査概要

平成28年(2016年)に実施したクルーズ客船利用客を対象とした調査概要⁽¹⁾⁽²⁾を以下に示す。

調査日時：平成28年9月22日(木)

9:00~21:00(着岸時間帯)

対象船舶：飛鳥Ⅱ(郵船クルーズ)

50,142t

船舶定員：1,342人

調査場所：函館市港町埠頭

調査票における観光スポットの選択肢につ

いては、既存の観光調査⁽³⁾におけるスポットを参考にして設計を行った。

調査方法については、計画当初、寄港後の下船時に調査票を配布し、船に戻って来た際に回収する予定でいたが、下船時の観光に出发する際に配布すると負担がかかることから、船に戻って来た際に依頼することとした。

また、戻って来た際に地元の名物グルメとなっている「いかめし」を配布する⁽⁴⁾予定であったことから、その配布時にアンケート調査の依頼を行った。

(2) 調査結果概要

本調査は、事前のヒアリング情報から最大で450サンプルの回答を目標としていたが、函館市寄港時にツアーを終了する観光客が非常に多かったこと、また調査場所（いかめしの配布場所）が客船利用客の着地型観光から戻って来た際の動線から外れてしまったことが原因となり、30サンプルしか回答を得ることができなかった。

今回、30サンプルによる分析のため、統計的には有意とは言えないものの、利用客の寄港地における着地型観光の行動・意識の貴重なデータであり、その傾向を読み取る一助となることから、その結果について報告を行うこととする。

4. 調査結果

(1) 回答者属性

①性別・年代

回答者の性別を図1に、年代を図2に示す。

図1を見ると、回答者（無回答を除く）のうち、「男性」が6人（30.0%）、「女性」が14人（70.0%）となっている。

図2を見ると、「20歳代」が1人（5.0%）、「30歳代」が2人（10.0%）、「50歳代」が3人（15.0%）、「60歳代」が1名（5.0%）、「70歳代以上」が13人（65.0%）となっており、「70歳代以上」が全体のおよそ2/3を占めている

ことがわかる。

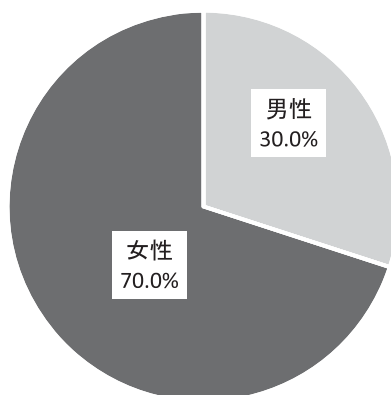


図1 回答者性別 (N=20)

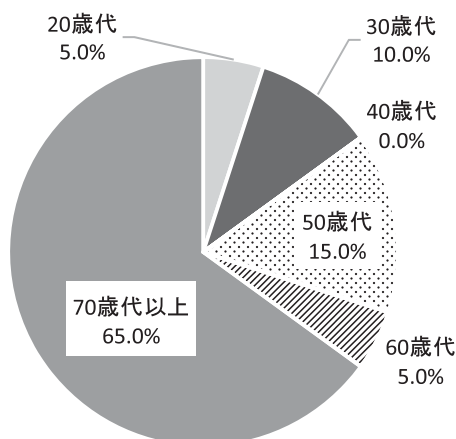


図2 回答者年代 (N=20)

②居住地

居住地 (N=18) については、東京都が5人（27.8%）で最も多く、次いで愛知県が3人（16.7%）、埼玉県、神奈川県、千葉県の2人（11.1%）、大阪府、京都府、奈良県、福井県、広島県の1人（5.6%）となっている。

③参加形態

参加形態を図3に示す。

図3を見ると、参加形態は「夫婦」での参加が12人（57.1%）で最も多く、次いで「友人同士」の5人（23.8%）、「1人（単独）」、「親子」での参加が1人（9.5%）となっている。

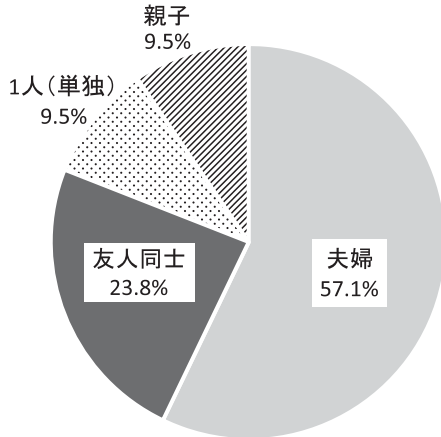


図3 参加形態 (N=21)

(2) 調査結果

①来訪回数

これまでの函館市(周辺を含む)への来訪回数を図4に示す。

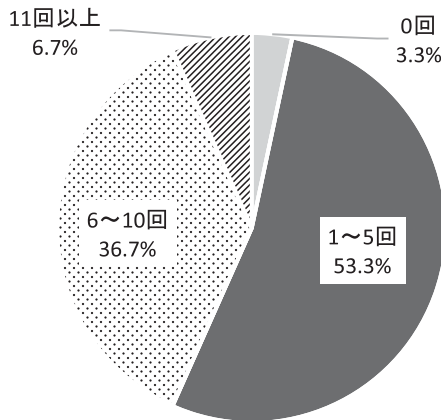


図4 過去の函館来訪回数 (N=30)

図4を見ると、「0回(今回が初めて)」が1人(3.3%),「1~5回」が16人(53.3%),「6~10回」が11人(36.7%),「11回以上」が2人(6.7%)であった。

②訪問観光スポット

訪問した観光スポット(複数回答)を図5に示す。

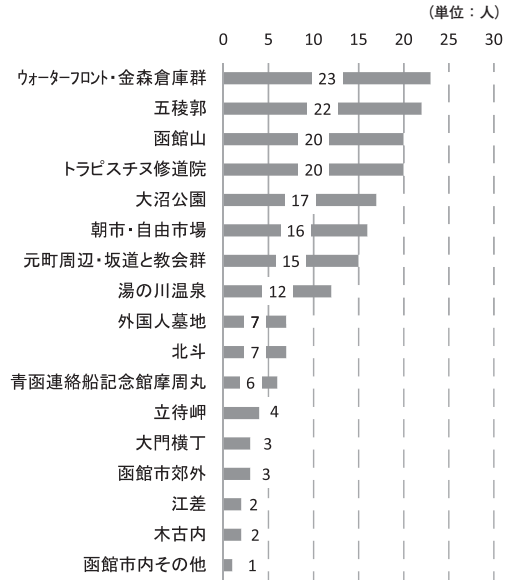


図5 訪問観光スポット (N=30)

図5で50%以上の回答者が訪問した観光スポットを見てみると、「ウォーターフロント・金森倉庫群」が23人(76.7%)で最も多く、次いで五稜郭22人(73.3%), 函館山とトラピスチヌ修道院20人(66.7%), 大沼公園17人(56.7%), 朝市・自由市場16人(53.3%), 元町周辺・坂道と教会群15人(50.0%)となっている。

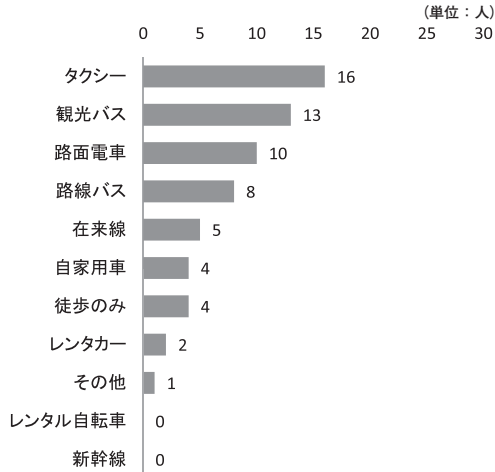
回答の中には、着岸港から比較的遠方である大沼公園17人(56.7%), 北斗7人(23.3%), 江差, 木古内それぞれ2人(6.7%)を訪問している回答者も見られる。

③函館観光交通手段

函館市(周辺も含む)観光における利用交通手段(複数回答)について、図6に示す。

図6を見ると、「タクシー」利用が16人(53.3%)で最も多く、次いで「観光バス」13人(43.3%), 「路面電車」10人(30.0%), 「路線バス」8人(26.7%), 「在来線(鉄道)」5人(16.7%), 「自家用車」, 「徒歩のみ」がそれぞれ4人(13.3%), レンタカー2人(6.7%)となっている。

クルーズ客船来訪客の観光行動



注) 路線バスはシャトルバス(港⇄市内)を除く

図6 函館観光交通手段 (N=30)

④消費金額

函館観光における一人あたりのおよその平均消費金額について、合計金額の分布を図7、平均消費金額の内訳を図8に示す。

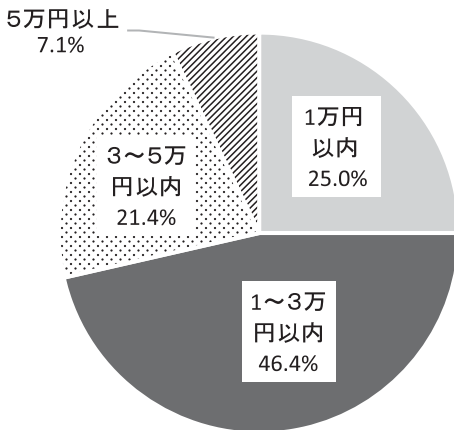


図7 一人あたりの平均消費金額の分布 (N=28)

図7を見ると、平均消費金額(合計)は、「1~3万円」が13人(46.4%)で最も多く、次いで「1万円以内」7人(25.0%)、「3~5万円」6人(21.4%)、「5万円以上」2人(7.1%)であった。

なお、最高金額は合計60,000円(70歳代以上の女性)であった。

図8を見ると、「土産」に14,000円(59.7%)

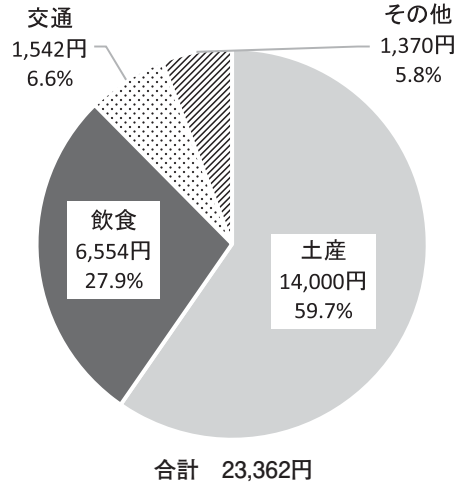


図8 平均消費金額の内訳 (N=28)

と最も多く消費しており、次いで「飲食」6,554円(27.9%)、「交通費」1,542円(6.6%)、「その他」1,370円(5.8%)となっており、平均消費の合計金額は23,362円となっている。

⑤満足度

函館観光の満足度について、図9に示す。

図9を見ると、「とてもよい」が16人(55.2%)、「よい」が11人(37.9%)、「普通」が2人(6.9%)で、「あまりよくない」、「よくない」と回答したのは0人(0.0%)であった。

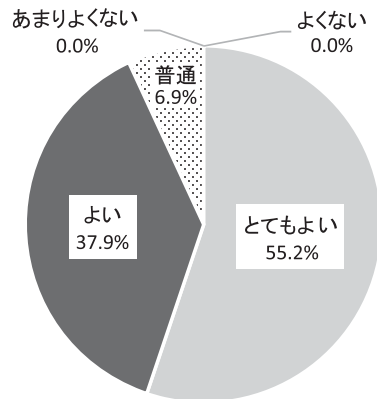


図9 満足度 (N=29)

⑥観光情報源

観光情報源(複数回答)について、図10に

示す。

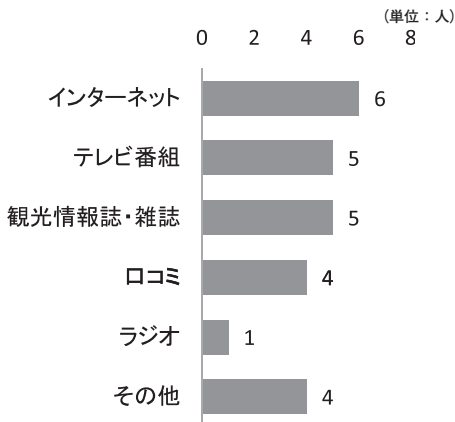


図10 観光情報源 (N=18)

図10を見ると、「インターネット」が6名(33.3%)で最も多く、次いで「テレビ番組」,「観光情報誌・雑誌」5人(27.8%),「口コミ(行ったことのある方からの話)」4人(22.2%),「ラジオ」1人(5.6%),「その他」4人(22.2%)となっている。

(3) 函館観光における要因分析

今回の調査にあたり、函館観光の中で重要視(期待)する要因について一対比較法により調査を行ったが、サンプル数と信頼性(整合度CI値によるチェック)が不足であった回答が多かったため、結果は省略する。

ちなみに、要因については「買い物」,「飲食・グルメ」,「歴史的建造物」,「自然(景観を含む)・温泉」の4項目を示し、比較をしてもらっている。

5. おわりに

本研究は、近年の観光における形態として着目されているクルーズ客船来訪客の行動・意識について、函館で行ったクルーズ客船来訪調査の結果について示した。

具体的には、クルーズ客船の着地・寄港地函館市(周辺も含む)における来訪回数(経

験)を始め、訪問スポット等の観光行動における周遊性、周遊の際の利用交通手段、種類別の消費金額、観光の満足度について、サンプル数は少ないものの、観光実態について明らかとすることができた。

今後は、今回サンプル数と信頼性の関係で分析ができなかった観光行動の要因分析、またサンプル数を増加させた中でさらなるクルーズ客船による観光行動の実態を分析することが課題となる。

〔謝辞〕

今回の調査については、特定非営利活動法人スプリングボードユニティ21理事長の折谷久美子氏の多大なご支援の下、函館市、北海道開発局の多大なご協力を得ることができた。また調査時、経済学部経営情報学科在籍の中村一樹氏に調査実施において多くの協力をいただくことができた。ここに記して感謝の意を記す。

〔注〕

- (1) 函館市港湾空港部「平成28年度のクルーズ客船入港予定」を参照。
- (2) 飛鳥クルーズ「ASUKA CRUISE」参照。
- (3) 函館市観光企画課・(一社)函館国際観光コンベンション協会「観光アンケート調査」を参照。
- (4) 函館市等の依頼により、特定非営利活動法人スプリングボードユニティ21が、クルーズ客船の観光客に対し、地元のおもてなしとして帰船時に手づくりのいかめしの無料提供を行っている。

〔参考文献〕

- 飛鳥クルーズ「ASUKA CRUISE」<http://www.asukacruise.co.jp/>, 2016.7参照
- 函館市観光企画課・(一社)函館国際観光コンベンション協会「「観光動向調査」・「観光アンケート」調査結果」<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014060600023/>, 2016.7参照
- 函館市港湾空港部港湾空港振興課「平成28年度のクルーズ客船入港予定」<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2016042500024/> 2016.7参照